



PLANISWARE
ENTERPRISE

製品ソリューションの概要

目次

イントロダクション 3	ポートフォリオの可視化 13	アジャイルポートフォリオ 21	05 Planisware Enterprise機能一覧 28
ビジネスイノベーションを実現	プロジェクトポートフォリオ	エンタープライズレベル	
Planisware Enterpriseがもたらす主な価値	ビジネスインテリジェンス・アナリティクス	プロジェクト・チームレベル	
01 戦略の策定・実行 6	アイデアから提案へ 14	プロジェクトスケジューリング 22	Planisware Enterprise機能一覧 29
経営目標を達成するために戦略を策定 7	アイデアの募集・収集・醸成・選定	プロジェクトネットワーク	戦略プランニング
戦略策定&財務計画	ビジネスケース	プロジェクト：スケジュール、コスト、レポート	プロジェクトポートフォリオ
エンタプライズアーキテクチャー		プロジェクト：スケジュール、コスト、レポート	ビジネスインテリジェンス
スピード、正確性、機敏性を持って実行 8	プロジェクトパイプライン 15	インギン&分析	財務
プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント	プロジェクト・提案の選定	コラボレーション 23	プログラムマネジメント
エンタープライズアジリティ	シナリオ比較	作業管理	リソースマネジメント
		ドキュメント管理	コラボレーション
ビジネス資産を管理 9	プログラムマネジメント 16		アーキテクチャー
製品	複雑さへの対処		
エンジニアリング	財務予測 17	04 エンジニアリング向けのソリューション .. 24	プランニスウェアについて 31
アプリケーション	ビジネスケースを通じた定量評価	エンジニアリング向けのソリューション 25	数字で見るプランニスウェア 32
合理的なユーザーエクスペリエンスで	ポートフォリオレベルでの	資本計画	
生産性を向上 10	リソースプランニング 18	契約管理	
直感的なUI	キャパシティプランニング	アジャイル&アード・バリュー・マネジメント	
オンデマンド・トレーニング	リソース情報の統合	アーキテクチャー&デリバリーオプション 26	
エンタープライズBOT		ウェブアーキテクチャー	
	03 チーム連携 19	オンプレミス&クラウドデリバリー（SaaS）	
02 経営目標とプロジェクトを関連付け 11	リソースマネジメント 20	ソリューションの先を見据えたサービス 27	
ロードマップ&予算配分の優先順位付け 12	リソースの見積	コンサルティングおよびその他のサービス	
ロードマップ	リソースアサインメント	プランニスウェアのコミュニティ	
戦略的投資枠（バケット）	タイムトラッキング		



アナリストによる評価

「製品開発分野の市場シェアを二分する代表的製品」

FORRESTER®

「強固なポートフォリオマネジメントやリソースマネジメントのみならず、プロジェクト、プログラム、財務マネジメントなどの重要領域で卓越したソリューションを提供」



ビジネスイノベーションクラウド

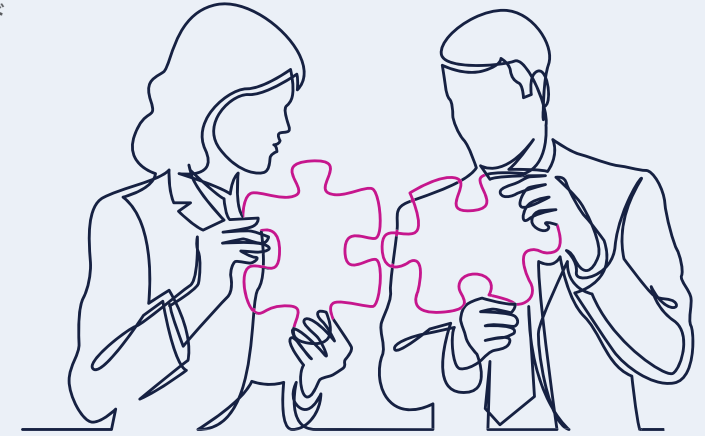
大規模な変革を加速しましょう。

Planisware Enterpriseは戦略策定・財務計画、プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント、ビジネス資産管理などに関する統合ソリューションを単一のクラウドプラットフォームで提供します。

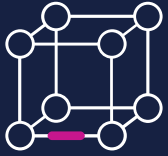
- ✓ 課題と機会を踏まえ、シナリオとオプションを作成
- ✓ ビジネス上の制約事項と影響を可視化し、戦略に沿って意思決定
- ✓ 組織全体で自主性とチーム間の団結を両立させ、機敏に方向転換
- ✓ 製品やプロジェクトを通じてインパクトを実現

1996年以来、イノベーションの実現を支援

500以上の組織がPlanisware Enterpriseのソリューションを活用して、プログラムやプロジェクトの計画、優先順位付け、実行をしています。右記はPlanisware Enterpriseを通じてイノベーションを推進する企業の一部です。



PLANISWARE ENTERPRISEがもたらす主な価値



戦略目標の策定と組織への伝達

エンタープライズアーキテクチャー、ロードマップおよび戦略的投資枠



プロジェクトポートフォリオの最適化

機会とアイデアの把握、ビジネスケースの作成、シナリオの比較、シミュレーションの実施などを通じて、戦略と予算の両方に沿ったパイプラインを構築・維持



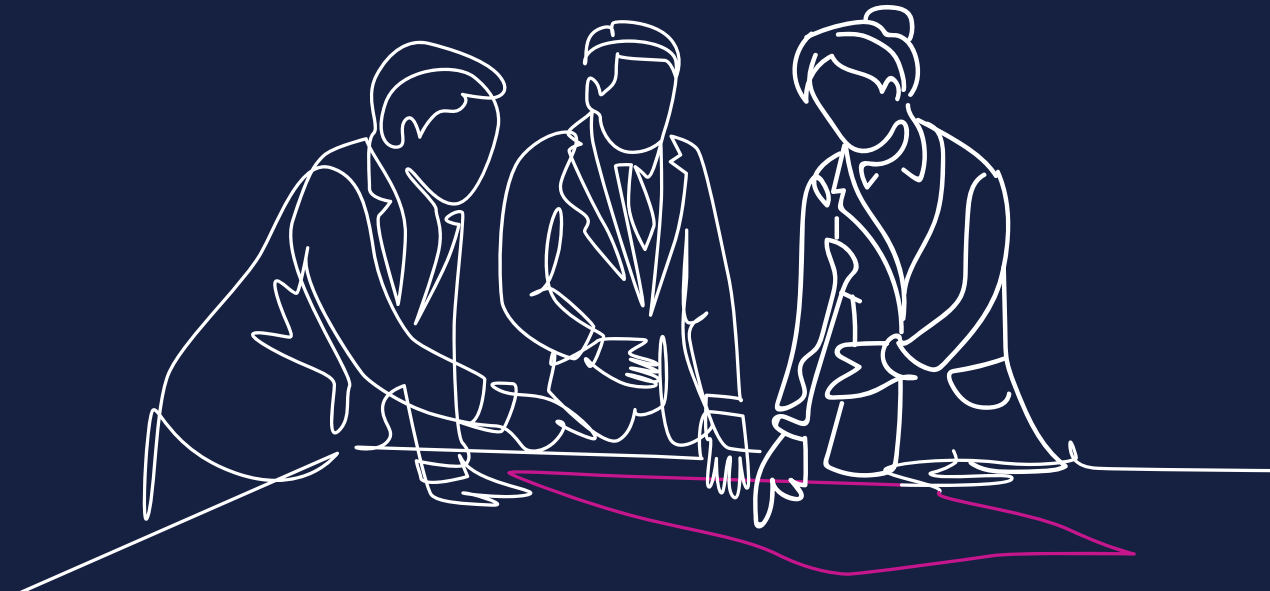
プロジェクトを迅速に実行

アジャイル、ウォーターフォール、その他の方法論と組み合わせたリソース、リスク、課題、スケジュールマネジメント



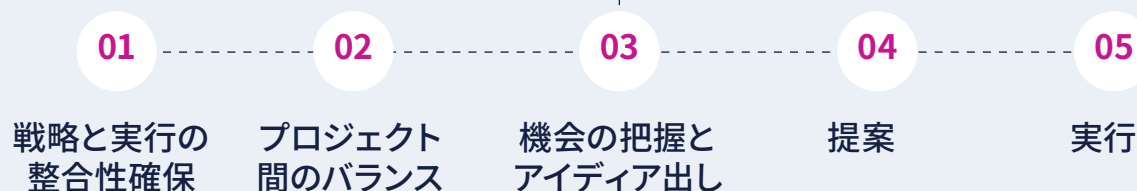
組織全体に俊敏性を構築

変化に適応し、新たな機会を捕捉



オプションの検討・意思決定を通じて、インパクトを創出

戦略の立案・実行



戦略/ ポートフォリオビジョン

- ロードマップの策定
- プログラムの構築
- 予算の確保
- 戦略投資枠に沿った
予算配分



リソース マネジメント

- リソースキャパシティの把握
- リソースコンフリクトの解消
- スキルの見える化
- 実績時間の収集



プロジェクトの実行

- アジャイル
- ステージ・ゲート
- コストマネジメント
- リスク・課題マネジメント

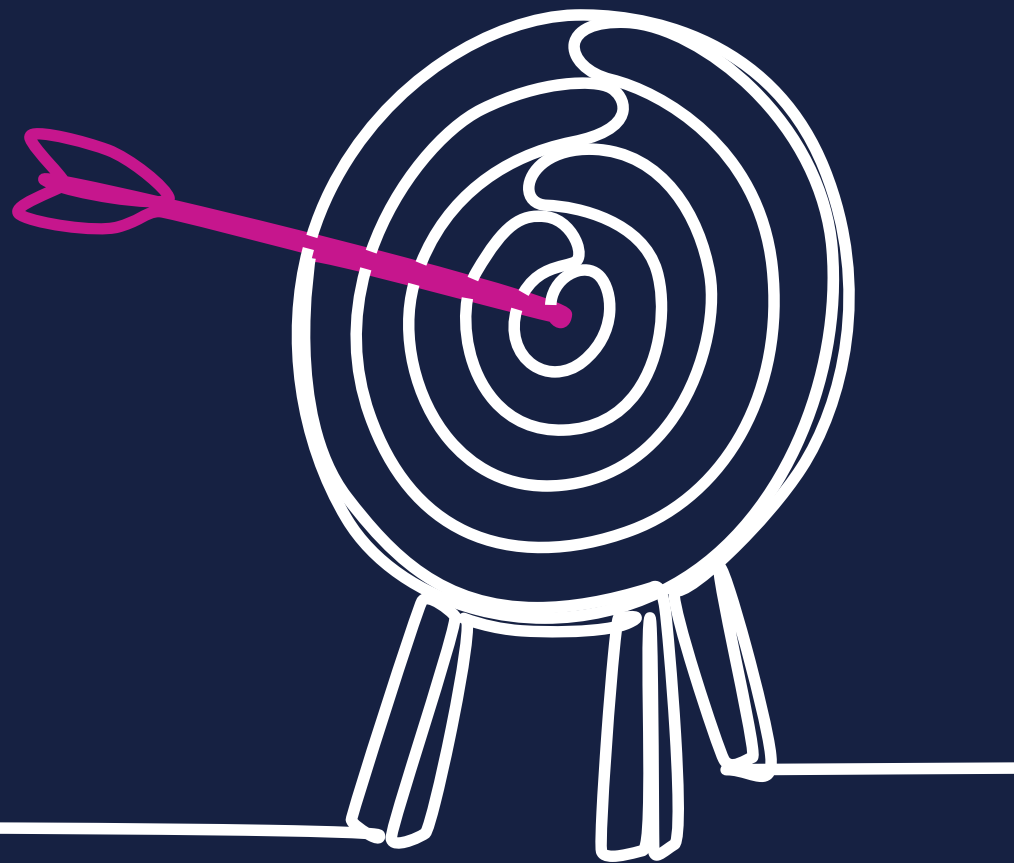


コラボレーション/ ナレッジ

- ビジネス
インテリジェンス
- システム間の統合
- ソーシャル
ネットワーキング

01

戦略の策定・実行



経営目標を達成するために戦略を策定

戦略策定&財務計画

ポートフォリオを最適化させる第一歩は戦略の明確な定義です。Planisware Enterpriseを活用することで経営目標の伝達、戦略カテゴリー間の予算配分（12ページ）、プロジェクトと提案に対する評価の標準化（14～15ページ）、成長に寄与するポートフォリオの構築が可能になります。

シナリオ作成、リソースキャパシティ・予算を踏まえたタイムシフト、ウォーターライン分析などの強力な機能により、リソースや予算などの制約を超えることなく、戦略を推進し、価値を最大化するための適切なプロジェクトを選択します。Planisware Enterpriseが提供する豊富なレポート機能とBIツールへのデータエクスポート設定（13ページ）により、戦略やポートフォリオをあらゆる角度から包括的かつリアルタイムに把握することができます。



図1：戦略目標に対するプロジェクトの貢献度を測るダッシュボード

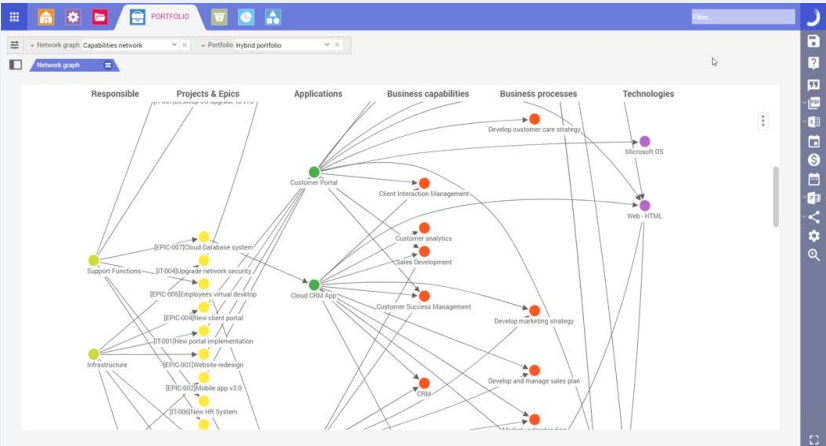


図2：企業全体のケイパビリティ、プロセス、アプリケーション、テクノロジー、プロジェクト間の関係性を表示するネットワークグラフ

エンタープライズアーキテクチャ

エンタープライズアーキテクトと PMO は企業戦略を推進するプロジェクトを成功させることで組織を成長させるという共通目標を有しています。通常、エンタープライズアーキテクトはビジネス目標を達成するためのハイレベルな青写真を描き、PMOは実行に対する権限を持っています。これらの部門に共通のビジョンがない場合、戦略と実行の不整合が発生してしまいます。

Planisware Enterprise を活用するとPMO は組織のアーキテクチャを直接把握できるようになり、エンタープライズアーキテクトはプロジェクトポートフォリオを確認できるようになります。アーキテクチャモデルを共有し、戦略、ケイパビリティ、プロセス、アプリケーション、テクノロジー、プロジェクト間の複雑な関係性をマッピングすることで、両者が戦略目標に向かって前進するために必要な洞察を得られるようになります。

スピード、正確性、機敏性を持って実行

プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント

業界をリードするPlanisware Enterpriseのプロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント機能を通じて、価値向上の加速、オペレーションの合理化、敏捷性の獲得を実現しましょう。

プランソフトウェアは約25年前にプロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント (PPM) ソリューションプロバイダーのリーダーとして頭角を現し、プランニング (22ページ) とリソーシング (20ページ) の統合をベースとしたポートフォリオダッシュボード (13ページ)、コストおよびリスクマネジメント (17ページ)、ワークフロー、ベストプラクティスなどを提供してきました。

今日も各アナリスト企業から評価を受け続ける業界リーダーであり、チーム内のソーシャルコラボレーション (23ページ)、デジタルプロジェクトのマネジメントを支援するアジャイルプロセス (21ページ)、PPMに変革をもたらす人工知能などの革新的な技術を用いたソリューションを提供しています。

エンタープライズアジリティ

目まぐるしく状況が変化する今日の世界で競争優位性を構築するためには、製品・サービスだけでなく、仕事の進め方も常に革新していかなければなりません。市場の動きを把握し、ビジネスコンテキストの変化に素早く適応できるだけのアジリティを身につけることが成功に不可欠です。

Planisware Enterpriseはプロジェクトレベルで包括的なアジャイル関連のソリューションを提供するとともに、Scaled Agile Framework (SAFe) のフレームワークを通じて貴社のエンタープライズアジリティ実現に向けた取り組みを加速します。Planisware Enterpriseはステージゲートやアジャイル・ステージゲートを含む複数の方法論をサポートしているため、アジャイルを通じた変革に向けて、すべてのチームがそれぞれの最適な方法で仕事ができるようになります。詳細については21ページを参照下さい。

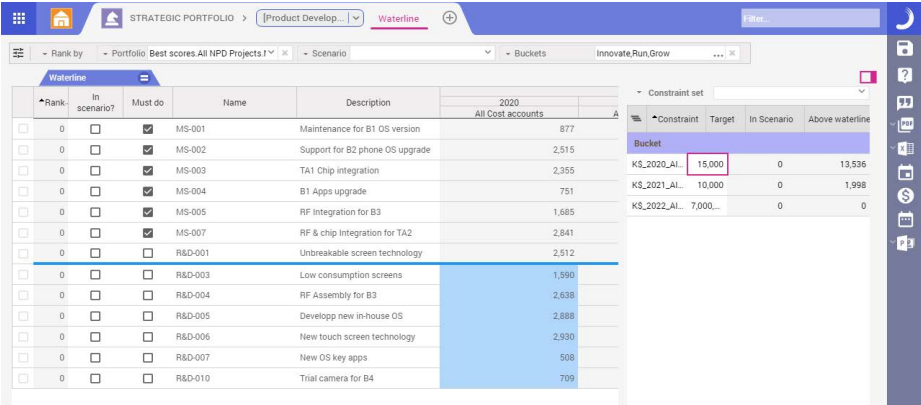


図3：ウォーターライン分析は必須プロジェクトやプロジェクト間の依存関係を考慮し、予算上の制約条件を満たした戦略に沿ったポートフォリオの構築を促進

ビジネス資産を管理

製品

製品開発組織は終わりのない厳しい競争環境にさらされています。製品そのものの革新とデリバリープロセスの双方において主体的にイノベーションを実現する能力が成功に不可欠です。

Planisware Enterpriseは企画から開発、出荷まで、製品ライフサイクル全体を通じて製品開発組織をサポートし、製品デリバリーの迅速化とコスト削減を実現します。製品構成を包括的に把握することにより、重複作業の特定・排除と製品コストの管理が可能になります。要件のトラッキング、構成管理、コストおよび収益のモニタリングを通じてプロジェクトの実行を合理化しましょう。

エンジニアリング マネジメント

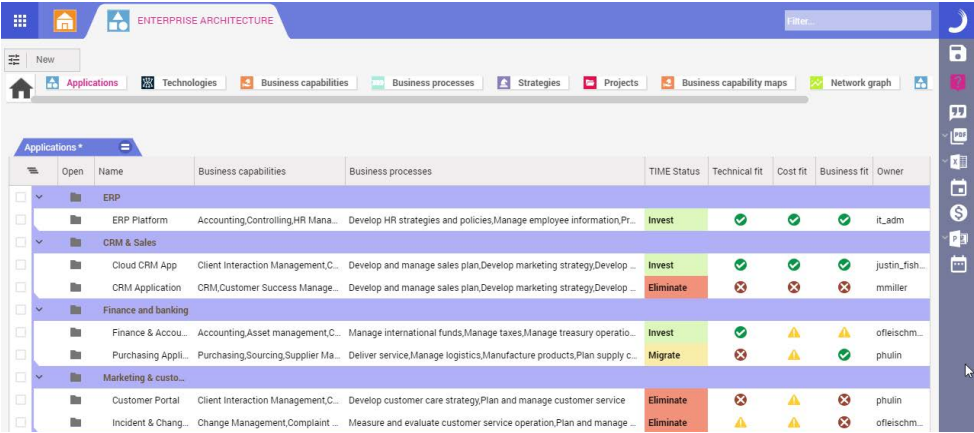
ABB、アルストム、バテル記念研究所などのエンジニアリング・建設企業を顧客とする当社は、エンジニアリングならではの計画・管理ニーズを把握しています。

Planisware Enterpriseは契約管理、アード・バリュー・マネジメント、資本計画、その他多くのプロセスに対して包括的なサポートを提供します（詳しくは25ページを参照）。より詳細なPlanisware Enterpriseのエンジニアリングソリューションは、プロジェクトコントロール&エンジニアリング用製品パンフレットを参照下さい (planisware.com/engineeringへアクセス)。

アプリケーション

ビジネスアプリケーションは組織の運営に不可欠にも関わらず、70%近くの組織はアプリケーションポートフォリオを包括的に記録・管理していません。ビジネスアプリケーションの全体像が可視化されていない場合、ライセンスの重複や不使用、メンテナンスだけでなく、更新の遅延やバグ修正の未対応を要因とする障害のリスクにより多額のコストが発生する可能性があります。

Planisware Enterpriseはライフサイクル全体にわたるアプリケーションのカタログ化や管理を可能にするアプリケーションポートフォリオマネジメントに関するソリューションを提供します。組織にとって真の価値を生み出すアプリケーションに投資し、コストを削減するために移行または削除できるアプリケーションを特定し、依存関係とメンテナンスのニーズを明確に把握・リスクを軽減してアプリケーションポートフォリオを最適化しましょう。



Open	Name	Business capabilities	Business processes	TIME Status	Technical fit	Cost fit	Business fit	Owner
	ERP							
	ERP Platform	Accounting,Controlling,HR Mana...	Develop HR strategies and policies,Manage employee information,Pr...	Invest	✓	✓	✓	it_adm
	CRM & Sales							
	Cloud CRM App	Client Interaction Management,C...	Develop and manage sales plan,Develop marketing strategy,Develop ...	Invest	✓	✓	✓	justin_fish...
	CRM Application	CRM,Customer Success Manage...	Develop and manage sales plan,Develop marketing strategy,Develop ...	Eliminate	✗	✗	✗	mmiller
	Finance and banking							
	Finance & Accou...	Accounting,Asset management,C...	Manage international funds,Manage taxes,Manage treasury operatio...	Invest	✓	⚠	⚠	offleischm...
	Purchasing Appli...	Purchasing,Sourcing,Supplier Ma...	Deliver service,Manage logistics,Manufacture products,Plan supply c...	Migrate	✗	⚠	✓	phulin
	Marketing & custo...							
	Customer Portal	Client Interaction Management,C...	Develop customer care strategy,Plan and manage customer service	Eliminate	✗	⚠	✗	phulin
	Incident & Chang...	Change Management,Complaint ...	Measure and evaluate customer service operation,Plan and manage ...	Eliminate	⚠	⚠	✗	offleischm...

図4： アプリケーションをTIME マトリックスに従って分類することで、アプリケーションの価値を明確に把握し、アプリケーションを合理化または削除する意思決定を促進

合理的なユーザーエクスペリエンスで生産性を向上

直感的なUI

グーグル社が提唱するマテリアルデザイン原則や顧客からのフィードバックを参考としたPlanisware Enterprise7のユーザーインターフェースは、最も使い心地の良いユーザー体験を提供するよう最適化されています。Planisware Enterpriseは集中力と柔軟性を兼ね備えた、シンプルで一貫性のあるナビゲーションを通じて自然な学習を促進するアプリ指向のデザインを採用しています。最も使用頻度の高いモジュール、ビュー、ツールの画面表示をカスタマイズでき、必要に応じてタブなどその他の要素を簡単に追加・削除できます。直感的なアイコンやツール配置により、必要な機能をすぐに見つけ出すことができます。

オンデマンド・トレーニング

Planisware Enterpriseはユーザーガイド、ビデオ、およびすべてのモジュールのガイド付きツアーを備えた広範なeラーニングモジュールを備えています。新しいモジュールを検討している場合でも、特定の機能を復習したい場合でも、システム内のヘルプを利用すれば、最小限の時間で必要な情報を入手できます。

個別化されたアクセス

必要な機能・情報のみにアクセスします。Planisware Enterpriseのロールベースの構成とセキュリティモデルにより、管理者はデータとレポートへのアクセスを定義し、ユーザープロフィールに従って読み取り/書き込み権限を割り当てることができます。これにより、組織のメンバー一人ひとりに最適なデータが提供されます。

エンタープライズBOT

Planisware Enterprise7より新たに搭載されたお客様の個人コンシェルジュ

人工知能を活用したエンタープライズBOTは次のようなサポートを提供します：

- 情報の検索および表示
- データの更新
- なじみのないプロセスのナビゲーション

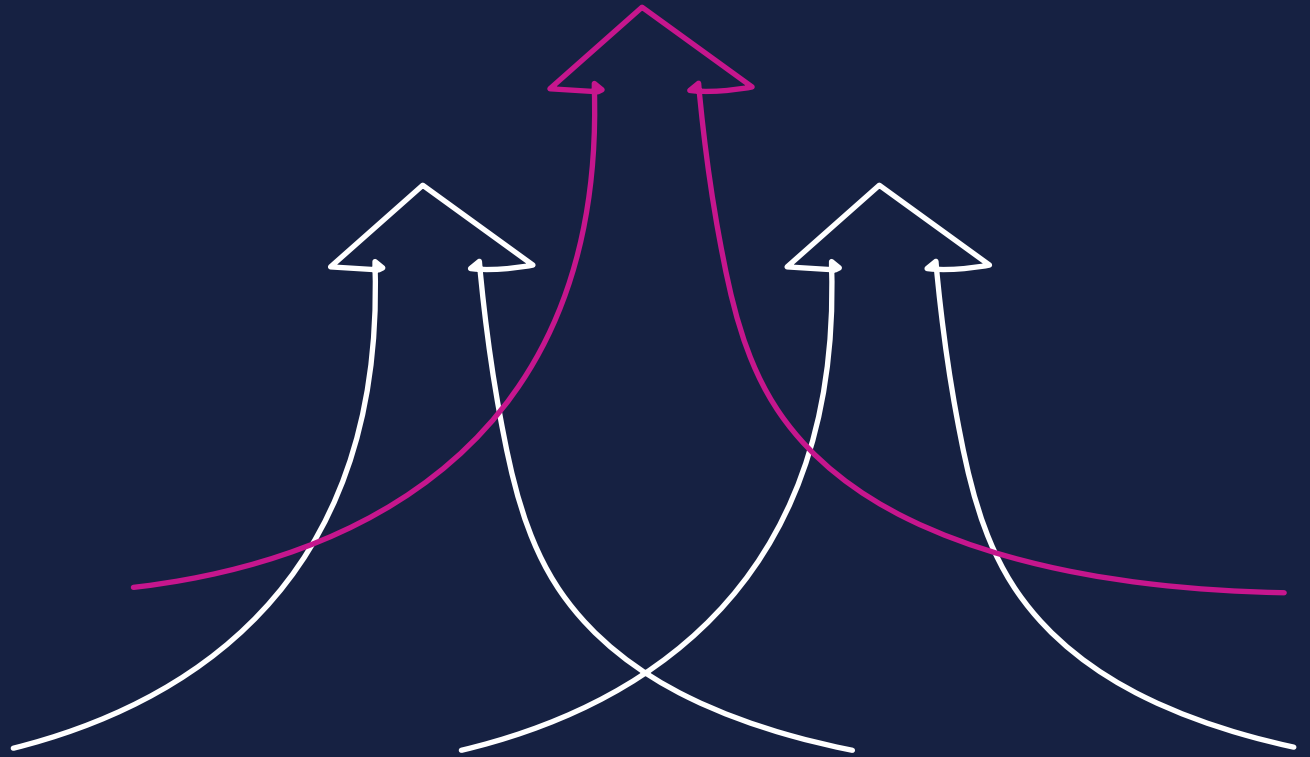
フレンドリーなBOTの手助けにより、手元にコンピューターがなくてもタスクの完遂が可能になり、生産性の向上とミスの低減につながります。また、BOTユーザーの快適性を高め、手順を見落とさないようにガイダンスを提供します。ウェブブラウザまたはモバイルでBOTと自然言語でチャットしましょう。



図5： E7 Enterprise-Bot

02

経営目標とプロジェクトを関連付け



ロードマップ&予算配分の優先順位付け

ロードマップ

高い視座から目標、計画、進捗状況を共有することで、組織横断的なコミュニケーションを簡素化し、企業全体にわたって戦略に沿った行動を促進します。インタラクティブなロードマップで目標の可視化と目標達成に向けた様々な取り組み間の複雑な依存関係の管理を行い、成功への道筋を描きましょう。

Planisware Enterpriseのロードマップを活用することで、市場投入、製品開発、技術開発、人材獲得、プロセス構築などの目標を達成するための重要なイベント、活動、マイルストーンを含んだグラフィカルなタイムラインを簡単に作成できます。他のロードマップやプロジェクトとリンクさせ、マイルストーンや成果物をロードマップへ反映することで常に最新の状態にします。また、ロードマップに影響するプロジェクトなどの更新情報を確認し、ワンクリックでロードマップへ瞬時に同期します。

Planisware Enterpriseではロードマップのスナップショットを取得することで、更新履歴を確認したり、時間の経過に伴う計画の進展を可視化できます。ロードマップはその他にも各機能部門や事業部門のリソースや財務データの統合に活用でき、部門横断的な状況把握に役立ちます。

戦略的投資枠(バケット)

戦略的投資枠を通じて企業目標や戦略に沿ったプロジェクトやイニシアチブの予算を確保できます。

まずは組織の戦略目標、製品ライン、プロジェクト種別、地理的条件などの予算配分軸を定義します。次に配分軸で切り分けられた投資枠であるバケット（あるいはエンベロープ）に予算が割り当てます。

プロジェクトのコストや投資枠に割り当てられた予算によっては、提案されたプロジェクトをすべて実行に移すことができないことがあります。この場合、複数のプロジェクトを包含したポートフォリオのシナリオ作成やプロジェクト間の優先順位付けを行い、最も価値のあるプロジェクト群を選定します（15ページ）。

トップダウンの予算配分は戦略的ビジョンに沿ったポートフォリオの構築に役立つ一方、各プロジェクトのコストをボトムアップで集計し確認することでプロジェクトの中断、優先順位の変更、特定プロジェクトの促進を行い、過剰な支出を回避できます。Planisware Enterpriseの統合されたコスト・予算機能は年間、四半期および臨時の予算サイクルの準備・実行を促進します。

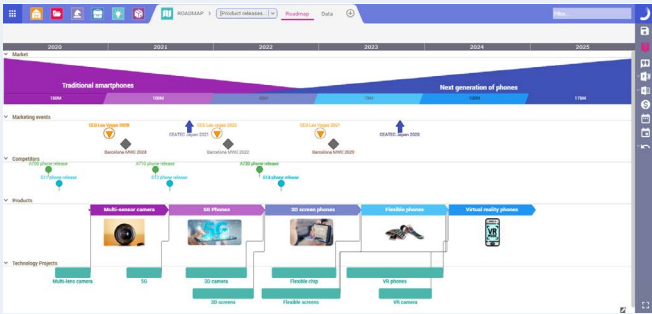


図6：全社ロードマップ

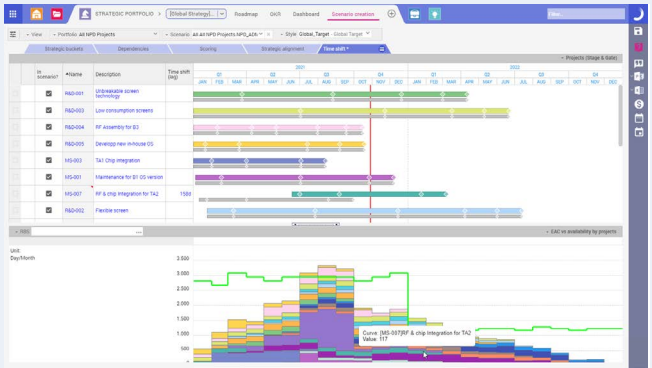


図7：シナリオ分析とタイムシフト

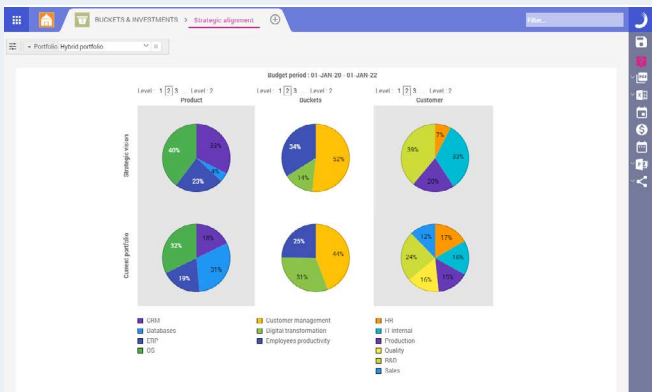


図8：バケットごとの予算と計画支出

ポートフォリオの可視化

プロジェクトポートフォリオ

プロジェクトポートフォリオ
複数プロジェクトをポートフォリオとしてグループ化して、高い目標を設定し、成果を測定しましょう。Planisware Enterpriseが持つ複数のデータ構造に沿ってデータを集約し、ポートフォリオ内のすべてのプロジェクトを様々な観点から可視化します。
投資利益率 (ROI)、正味現在価値 (NPV)、期待商業価値 (ECV)、リソース投入やリスク水準などのKPIを標準搭載しています。それらに加えて、お客様のビジネスニーズに沿った独自のKPIやOKRを作成できます。ダッシュボードにリスト、チャート、グラフを埋め込み、シンボリックな指標やゲージで傾向をハイライトします。

ビジネスインテリジェンス・アナリティクス

Planisware Enterpriseには充実したダッシュボードやアナリティクスツールが標準搭載されています。上記に加え、ビジネスインテリジェンスモジュールであるPlanisware Explorerを活用することで、独自のレポートを作成でき、さらなる柔軟性を提供します。
レポートビューは複数の軸（例：時間、通貨、部門、地理的条件、ワークパッケージ、コストアカウント、など）に沿って設定可能で、お客様のニーズに適した形でデータの掘り下げやフィルター処理ができます。
PowerPointへのネイティブエクスポート機能やExcelへのライブXMLデータストリーミング機能により、Microsoft Officeスイートへのレポートの転送が容易になります。
また、Planisware EnterpriseはBI Boxソリューションを通じてお客様のBIツールへ直接データを提供します。分析軸、ファクト、エクスポート頻度などを定義し、PowerBI、Qlik、Tableauなどのツールで簡単に処理可能な最適化されたデータセットを生成できます。BIツールに関する専門知識を活かし、Planisware Enterpriseのデータと他システムのデータを統合することで、外部BIツールのケイパビリティを有効活用しましょう。

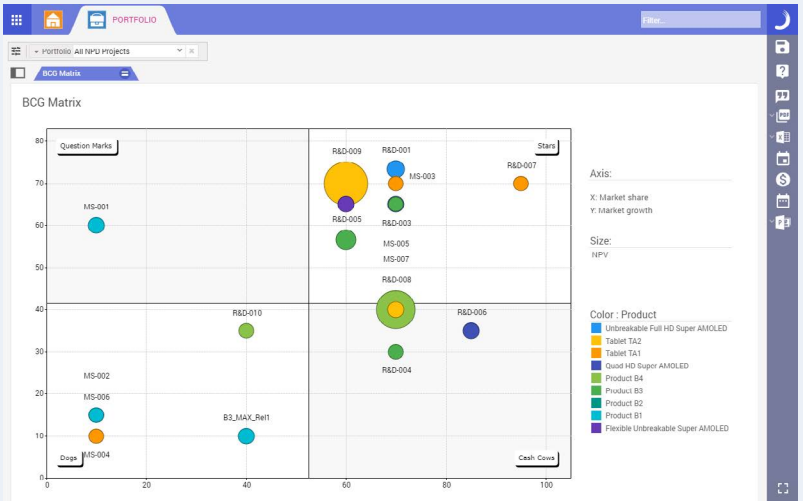


図9：BCG（画像）やマッキンゼーマトリックスをはじめとするチャートはポートフォリオ構成に関する視覚化されたインサイトを提供します

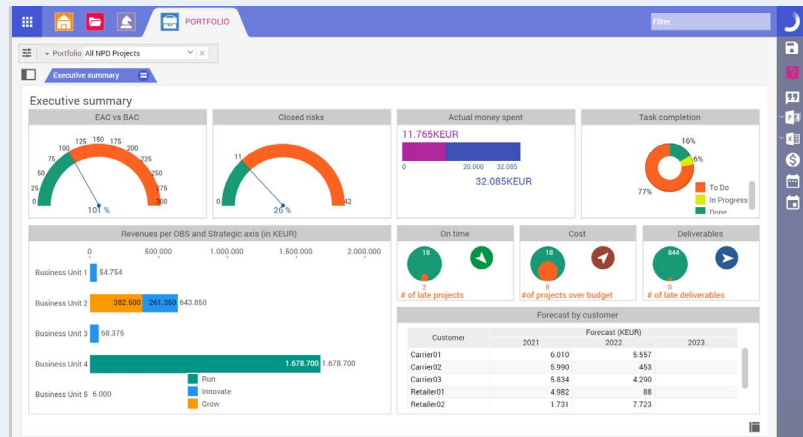


図10：ダッシュボードはリアルタイムで重要指標に関するデータを集計します。ビジネスインテリジェンスモジュールであるPlanisware Explorerで独自のダッシュボードを作成しましょう

アイデアから提案へ

アイデアの募集・収集・醸成・選定

組織は顧客の要望に応え、プロジェクトパイプラインを充実させるアイデアや要求事項を日常的に収集しています。Planisware Enterpriseのアイディエーションモジュールなら、組織のすべての階層で働く社員がアイデアや顧客の要望を単一システムに登録できます。アイディエーションモジュールは日常的にPlanisware Enterpriseを使用しないユーザーでも直感的に使いやすく、アイデアや顧客要望の共有、優先順位付け、多数決、高度な検索、カテゴリー管理など、強力な機能を提供します。

ビジネスケース

提案モジュールはアイデアが持つ価値の評価や、当該アイデアに関するビジネスケースの策定を支援するソリューションをユーザーへ提供します。

- 提案の作成：アイデアを整理し提案を構築しましょう。複数のアイデアを1つの提案に統合したり、1つのアイデアを複数の提案に分割することが可能です。複数の提案の間に相互依存関係がある場合、その追跡・管理を行えます。
- 提案に対するスコア付与：一つひとつの提案を定量的・定性的に評価します。定量的な指標ではキャッシュフロー、NPV、ECVなどが入力・算出できます。リスクやマーケット戦略などの定性面の評価はスコアの付与と重みづけができます。

アイディアキャンペーンマネージャーが投稿されたアイデアや要求事項の優先順位付けを行います。アイデアの重要性に応じて、複数ユーザーがアイデアをスコア化して評価し、候補プロジェクト（提案プロジェクト）として姿を変えます。

- 必要なリソースの見積：専門家による推定や、より高度なオプション（例えば過去のデータに基づくパラメトリック推定やAIベースの推定）により予算やリソースの需要を予測し、リソース投入量やコストを分析します。
- リソースキャパシティや予算の制約条件を評価：キャパシティおよびボトルネック分析画面により、新規提案プロジェクトの実施に影響を及ぼすコスト・リソース上の制約条件を事前に把握できます。
- 財務予測エンジンによる損益計算書の作成（17ページを参照下さい）。提案モジュールはすべての提案が標準的な指標によって評価され、均一なデータ表示や比較可能なデータに基づき意思決定されることを保証します。

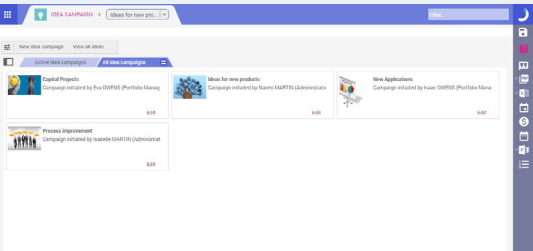


図11：進行中のアイディエーションキャンペーン

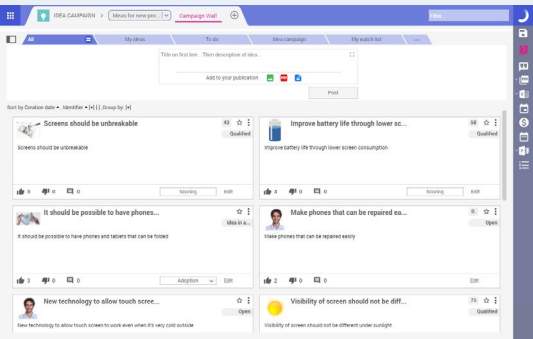


図12：キャンペーンのアイディアリスト

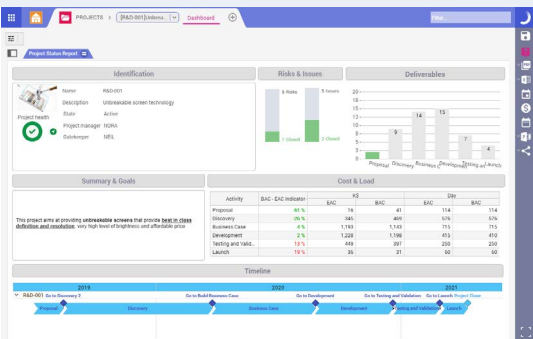


図13：提案を支えるビジネスケース

プロジェクトパイプライン

プロジェクト・提案の選定

Planisware Enterpriseは企業戦略に沿った価値が高くバランスのとれたポートフォリオを構築するために、予算とリソースの制約事項を考慮して最適なプロジェクトの組み合わせを特定することをサポートします。

- 複数の軸を用いたプロジェクト間の比較により、リスク、ROI、タイミング、コストなどの観点からポートフォリオ全体のバランスを評価できます。
- 従業員、臨時雇用者、外注リソース、さらには資材、設備、施設など、すべてのリソースを考慮した組織のキャパシティとリソースの予測ビューにより、スケジュール、優先順位、追加コストへの対処の糸口をつかみます。
- 高度なシミュレーション機能により、最適な投資シナリオを選択する前にサンドボックス環境で戦略を比較できます。

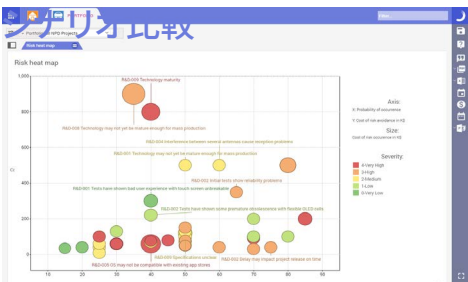


図14: ポートフォリオリスクヒートマップ

シナリオ比較

プロジェクトポートフォリオを構築する際、複数のシナリオどれもが適切であると思われる場合があります。最終的な選択を行う前に、さまざまな提案やプロジェクトを組み合わせた投資シナリオを作成し、比較します。

- 市場浸透、コスト削減、顧客満足度の向上などの目的に基づいて、投資シナリオを複数定義
- 各投資シナリオの実現に資するプロジェクトを選択
- シナリオ比較レポートでシナリオの財務価値、コスト、予算・リソースなどの制約事項への影響などを比較



図15: 効率的フロンティア

「最適なパイプライン」は「最高のプロジェクト群」と同義か？

Planisware Enterpriseが提供する効率的フロンティアおよび感度分析ツールはパイプラインの価値最大化をもたらすプロジェクト群を特定します。効率的フロンティアは選択した制約条件（通常は予算）を踏まえて、選択した価値（例：NPV）を最大化するプロジェクトリストを算出します。予算の追加など制約条件が増えるごとに、Planisware Enterpriseが最も大きな価値をもたらすプロジェクト群を算出し直します。

感度分析はさらにもう一步踏み込み、複数の変数を踏まえた最適なプロジェクトリストを算出します。これに加えて、変数の感度（各変数がポートフォリオの価値にどの程度の影響をもたらすか）を明らかにします。

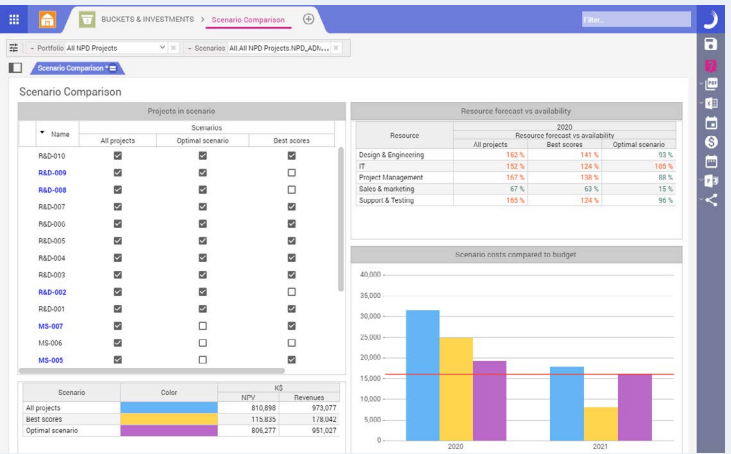


図16: 投資シナリオの比較

プログラマナジメント

複雑さへの対処

多くの組織にとってプログラムは単なるプロジェクトの集合ではありません。プログラムは会社の根本的な変革、市場参入、あるいはエンジニアリング組織の場合、複雑な顧客プロジェクトの構築を狙ったイニシアチブなど、ハイリスク・ハイリターンな構想を練ることに役立ちます。

プログラムでは部門横断的な取り組みが必要であるため、組織図に従った組織構造に沿ったデータ統合ではプログラムを理解し管理するのに十分な情報が得られないことが考えられます。

Planisware Enterpriseではプログラマナージャーが、組織のあらゆる部門に属するすべてのプログラム参画プロジェクトを横断した、プログラム上の目標やターゲット期日を含む高次のロードマップを設定できます。また、各プロジェクトの定量データ（コスト、時間、リソース）を集計し、プログラムレベルのターゲットと比較できます。コストはプログラムの予算に対して比較され、成果物はプログラム目標に対する進捗に対して評価されます。各プロジェクトのタイムラインをオンデマンド同期することで、プログラムレベルの統合されたライブタイムラインを可視化できます。

大規模な建設プロジェクトや重機製造などのターンキープロジェクトでは、提案段階から入札・納入状況の管理まで顧客との対応をサポートします。

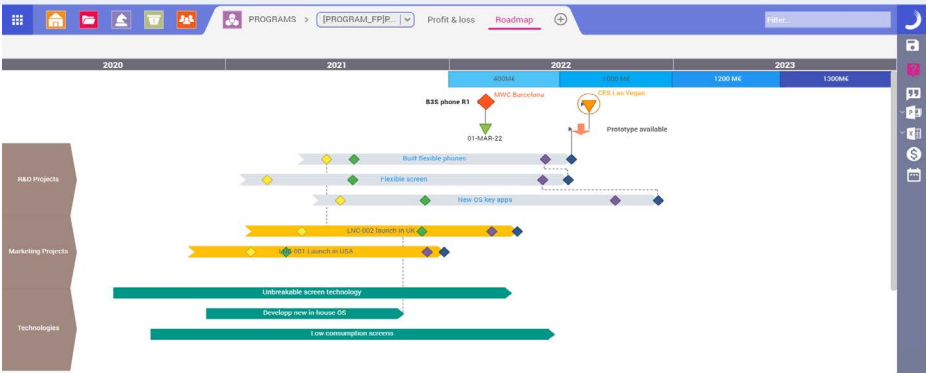


図17：プログラムロードマップ

	2020	2021	2022	2023	2024	Total
PROGRAM_FP-Program Flexible phones						
Program Sales Targets	200,000	250,000	250,000	200,000	200,000	1,100,000
Sales	209,407	241,175	261,000	231,200	196,900	1,140,312
Sales Delta	9,407	-8,825	11,000	31,200	-3,071	40,312
Program Investment Targets	150,000	150,000	50,000	250,000	200,000	800,000
Investment	157,429	123,537	48,478	283,980	210,680	824,113
Investment Delta	7,429	-26,462	-1,472	33,980	10,680	24,113
R&D-003-Flexible screen						
Sales	7,500	7,500	9,000	9,000	9,000	41,750
Investment	6,800	6,900	3,401	9,800	9,800	39,414
LNC-003 Launch in USA						
Sales	30,100	61,900	61,900	46,000	5	210,105
Investment	46,120	18,427	16,000	16,000	4,200	99,787
R&D-006-Develop new in house OS						
Sales	23,000	20,750	18,000	20,000	20,000	100,750
Investment	20,113	18,316	16,000	8,500	8,500	79,438
R&D-006-Built flexible phones						

図18：プログラムに参画するすべてのプロジェクトを集計した損益計算書

財務予測

ビジネスケースを通じた定量評価

提案が持つ潜在的な便益やコストを適切に評価できるよう、Planisware Enterpriseは幅広い要件に対応した柔軟性のあるモジュールを提供します。

Planisware Enterpriseの財務予測機能により、ユーザーはプロジェクトの見積コスト、プログラムへ参画するプロジェクトコスト、潜在的な収益、削減コストなどを考慮したプロジェクトのキャッシュフロー予測を迅速に算出できます。すべてのプロジェクトに対して一貫性のある手法を適用することにより、ポートフォリオレベルでのデータ集計と比較が可能になります。

オンデマンドで収益やコストの予想値を修正・再同期できるため、プロジェクトが進展するほど精度が高まっていきます。

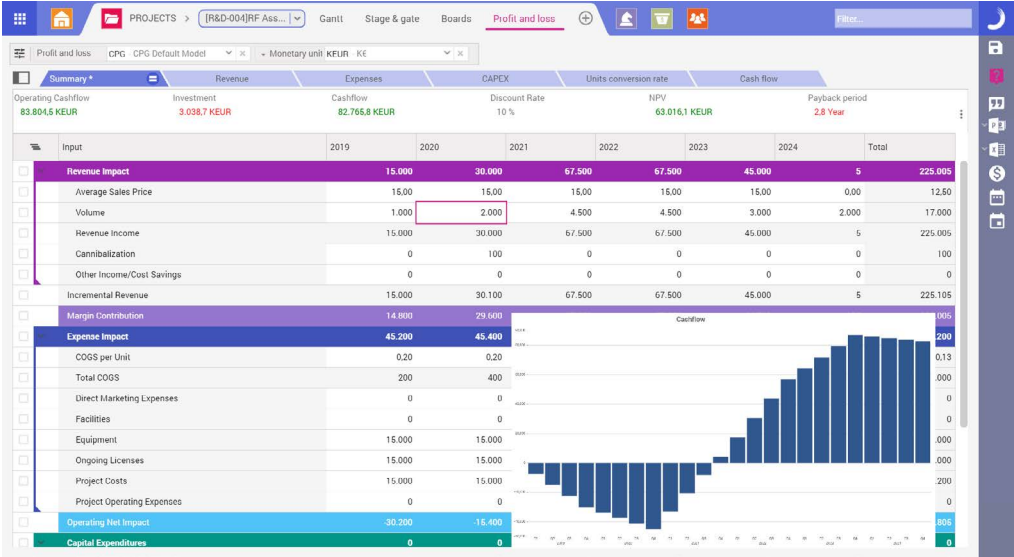


図19: ビジネスケースの策定に向けて、プロジェクトや提案の財務上の便益やコストを予測

MICROSOFT EXCELとの統合

Planisware Enterprise上で作成した財務予測値はExcelにエクスポートし編集できます。エクスポートされたスプレッドシートにはPlanisware Enterpriseへのダイナミックリンクが組み込まれているので、ローカルで前提条件を変えたり、改訂版をすばやく作成して、Planisware Enterpriseへ結果を送り返すことができます。

ポートフォリオレベルでの リソースプランニング

キャパシティプランニング

Planisware Enterpriseは重要なリソースの稼働時間と価値の最大化を効果的に支援するリソース予測ツールを提供します。

リソースボトルネックや供給・需要・キャパシティの比較ビューでは、過剰に配分されたリソースや有効活用されていないリソースを瞬時に特定できるだけでなく、最も重要なプロジェクトが必要な時に必要なリソースが配分されているかを確実にすることができます。

リソースマネージャーはプロジェクトの優先事項などの情報に簡単にアクセスできるため、トレードオフやプロジェクトの実施タイミングを加味した判断を迅速に行うことができます。What-if分析ツールを活用してリソース変更のシミュレーションを行うことで、プロジェクトポートフォリオ全体へのインパクトを確認できるため、難しい意思決定を効果的に下せます。

リソース情報の統合

プロジェクト情報と同様に、さまざまな軸に沿ってリソース情報の集計が可能です。また、ポートフォリオレベルでリソースの投入ステータス（暫定、確定、稼働中など）が確認できます。時間軸に沿ったリソースのキャパシティ・需給・実績に関する枠組みは、組織のリソース稼働状況、プロジェクトの進捗状況、リソースの消費状況、将来の予定作業を可視化します。

さらにもう一步踏み込み、さまざまな指標に対してリソースを評価することも可能です。例えば、地理的条件や稼働時間などの制約条件を考慮したうえで特定のリソース、役割、部門のコストと価値の両方を検証し、リソースごとの財務パフォーマンスを表示できます。

リソースマネジメントのソリューションがもたらす主な便益

- 短期と長期におけるリソースの投入およびキャパシティに関する情報を提供
- 組織のすべての階層において部門・個人・スキルごと、あるいはこれら3要素の組み合わせによるリソース管理
- 重要なリソースのボトルネックを可視化することにより、プロジェクトレベルでプロジェクトの継続/中止に関する判断を行い、ポートフォリオレベルでプロジェクト間の優先順位を決定
- Planisware Enterpriseはロールベースのソリューションであるため、各部門が各プロジェクトのワークパッケージに対するオーナーシップを確保
- 標準化されたリソース需給モデルを適用することで、リソース割当・調整のワークフローを合理化
- リソース契約を整理し、委託業務の計画やその時々の中内の委託水準を効率的に報告
- リソースに関する問題が発生した際、シミュレーションツールを駆使してwhat-if分析を行い、解決策を評価、など

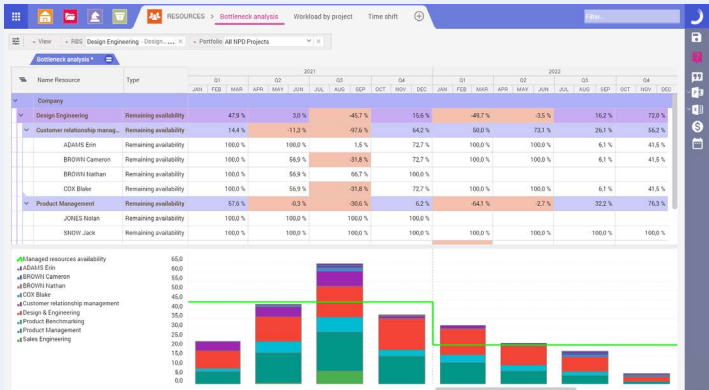


図20：リソースの配分先と今後数か月間のボトルネックを把握

03

チーム連携



リソースマネジメント

リソースの見積もり

Planisware Enterpriseはリソース要求テンプレートを提供することでプロジェクト間で一貫性を確保し、各プロジェクトで見積もりされたリソースデータの収集を促進します、

見積もりは専門家の判断や使い慣れているスプレッドシートからのインターフェースなど、さまざまな方法で収集されます。

Planisware Enterpriseはその他にもパラメトリック推定、アナロジーによる推定、予測分析モジュールによるAIベースの推定などの高度なツールを搭載しています。

リソースアサインメント

Planisware Enterpriseのリソース割当プロセスはロールベースのワークフローとネームドリソースレポートを活用し、人材を迅速かつ効率的に管理します。

Planisware Enterpriseはさまざまな割当プロセスに対応しており、ユーザーは社内外のリソースを部門ごと、個人ごと、スキルごと、その他のカテゴリーごとに管理できます。

タイムトラッキング

ユーザーは柔軟かつ使い勝手のよいTimecardを使用し、ウェブとモバイルのどちらからもPlanisware Enterprise上で直接時間をトラッキングできます。

時間が記録された後、実働時間を当初の予想値と比較し、リソースキャパシティ、予想値、実際に行われた作業の間の齟齬が確認できます。

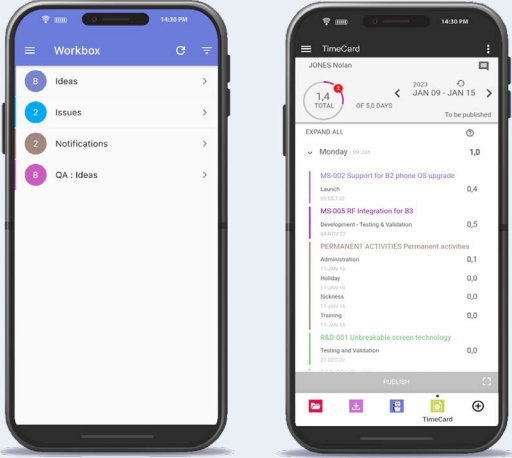


図21：モバイルアプリではチームメンバーがその都度打刻できます。

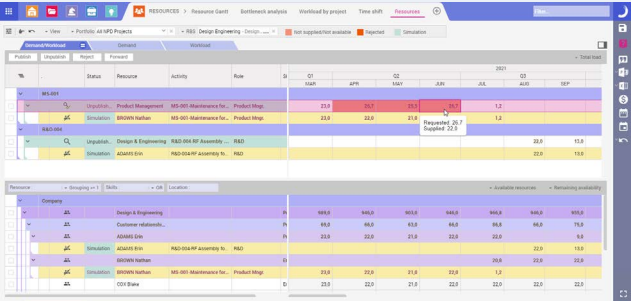


図22：リソースコンフリクトビューでは個人のリソースの稼働状況に関係して発生し得る問題を明らかにします。

アジャイルポートフォリオから チームへ

エンタープライズレベル

企業レベルでのアジャイル化への変革はここ数年の重要トピックの1つです。Planisware Enterpriseでは戦略的テーマに資金を投入し、アジャイルおよび非アジャイルの両面からポートフォリオの優先順位をつけ、アクティビティをストリームへ編成します。主要なイニシアチブや作業をアジャイルプログラム（またはSAFeフレームワークにおけるトレイン）へと分類します。WSJF（重み付けされた最短の作業から着手）の手法を用いて機能の優先順位づけを行い、カンバン方式で進捗状況を追跡します。

プロジェクト・チームレベル

Planisware Enterpriseでアジャイルの方法論を用いて機能、ストーリー、スプリント、カンバンを通じてプロジェクトを管理します。より大規模なイニシアチブでは大規模なチーム（またはSAFeアジャイルフレームワークにおけるリリーストレイン）を構成し、チーム内で仕事のリズムを揃え、同期をさせます（例えば、プログラムインクリメントおよびプログラムインクリメントプランニング（別名スクラムアジャイル））。Planisware Enterpriseはさまざまなチームが遂行する機能／ストーリー間の依存関係を管理し、バックログと進捗状況を統合した包括的な情報を提供します。チームおよびチームメンバーレベルへストーリーを割り当て、継続的なデリバリーを実現し（アジャイルカンバン）、スプリントの進捗を追跡する能力を備えた、アジャイルを推進するための包括的な環境を提供します。Planisware Enterpriseの独自の機能の他、JiraやAha!、Azure DevOpsとの標準的なコネクタが利用可能です。

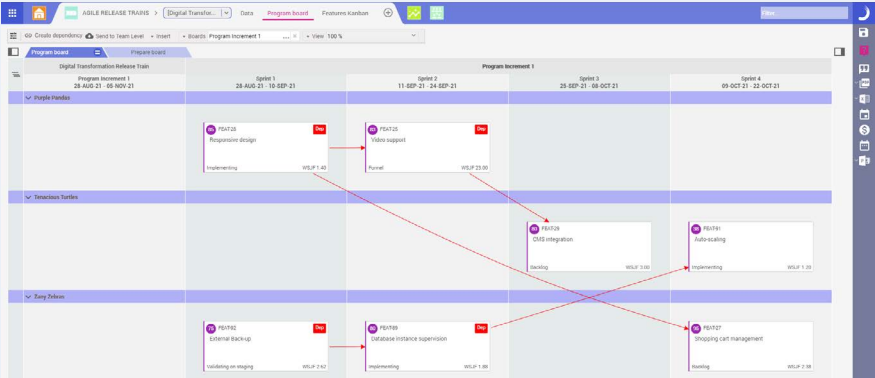


図23：チームカンバンビュー

プロジェクトマネジメントのソリューションがもたらす主な便益

プロジェクトマネジメントのソリューションがもたらす主な便益

- Planisware Enterpriseは直感的に使いやすいよう設計されているため、経験の少ないユーザーでもPlanisware Enterpriseのウェブベースのユーザーインターフェースへ迅速に適応
- KPIを盛り込んだ標準ビューにより、スケジュール上の変更、リスク、提案、傾向やリソース／コストの状況を容易に把握
- Planisware Enterpriseは包括的に統合されたソリューションとして、プランニングデータに関する信頼できる唯一の情報源として機能するため、すべてのプロジェクト関係者が同じツールを使用し、同じ手法を活用し、同じデータを閲覧。これにより、システムへの高い信頼性により使用頻度が増え、データの正確性が向上
- 柔軟なプロセス：リーン／アジャイル原則、PMBOK®、PRTM®のPACE®、Stage-Gate Inc.のStage-Gate®などの手法を用いる、またはこれらの手法を組み合わせることが可能
- プロジェクト予測、進捗状況の追跡、リスクの測定に関する社内標準への順守を担保
- モンテカルロ・シミュレーションなどの高度なツールが標準搭載、など

プロジェクトスケジューリング

プロジェクトネットワーク

- プロジェクトは4つの重要なコンセプトに基づいて構成されます。
- プロジェクト／機能によるマトリックス構造により、各機能部門が担当業務を主体的に遂行する一方、プロジェクトマネジメントを機能横断的に実施
 - 成果物を作成・活用するプロジェクトを整理し、プロジェクト間の関係性を具体化

プロジェクト：スケジュール、コスト、レポート＆分析

Planisware Enterpriseはグラフィカルなインターフェースを通じて、WBS、先進的なガントチャートエンジン、PERT図などのツールを提供します。

コストは作業、リソース、コストアカウント、組織構造ごとに追跡または集計可能です。為替や賃金レートはその時々市場レートを反映するよう必要に応じて再定義・更新可能です。過去のレートはそのレートが効力を持っている限り保存されます。

Planisware Enterpriseはコストの追跡と進捗状況の測定においてアード・バリューの方法論をサポートし、ANSI／EIA748の要件をすべて満たしています。

Planisware EnterpriseはStage-Gate® Ready認定を最初に取得したソリューションであり、Innovation Team Agility カテゴリーで最初に認定された数少ないソリューションの1つでもあります。

- ワークブレイクダウンストラクチャー（WBS）の各階層でプロジェクト間の依存関係を構築
- ワークパッケージを作成しサブプロジェクトへ委任。委任された業務は独立性を保つ一方、マスタプロジェクトのプロジェクト目標を引継ぎ、当該プロジェクトへの報告を実施

ユーザーは現在進行中のプロジェクトを複数コピーし、シナリオを作成し、それらを比較することでスケジュールやリソースのオプションを検討することができます。また、追加・更新・削除などを追跡することができます。

Planisware Enterpriseのモンテカルロ・シミュレーションエンジンを活用すると、ユーザーはタスク、リソース、コストのシミュレーションをあらゆる粒度レベルで実行し、リスク管理上のオプションやリスク軽減策を検証できます。モンテカルロ・シミュレーションの結果を参照することで、重要な意思決定を下す前に実際に発生する確率を考慮したり、リスク軽減計画の効果を評価したりすることに役立ちます。

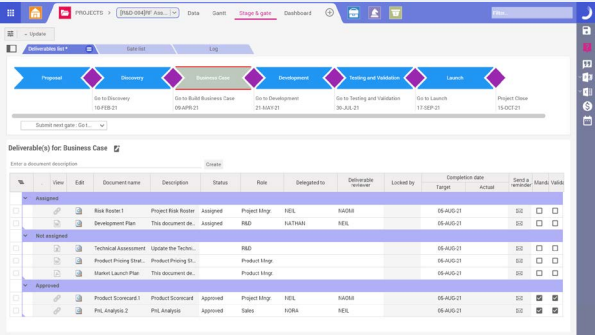


図24：ステージゲートとゲートごとの成果物

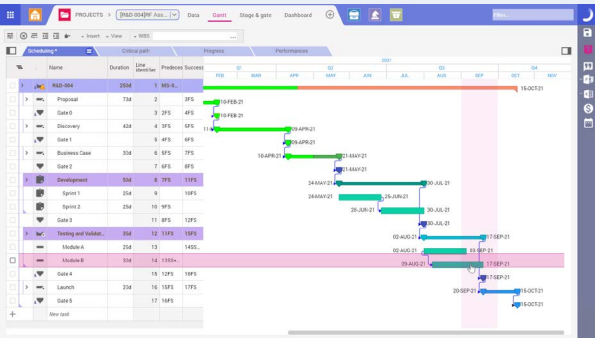


図25：スケジューリングエンジン

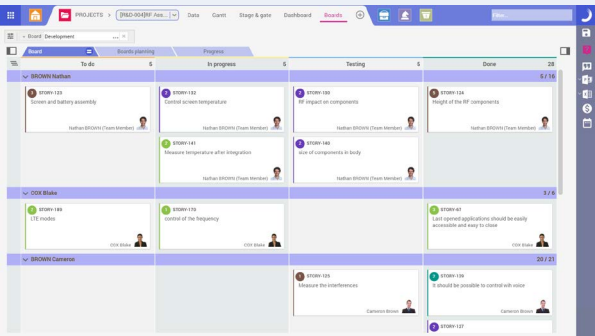


図26：ライブデータに基づいたステージレビュー

コラボレーション

作業管理

ユーザーがPlanisware Enterpriseにアクセスすると、まずワークボックスが開かれます。ワークボックスは高性能の「To-Doリスト」であり、ゲート、プロジェクト、リスク、課題、成果物、公開されたダッシュボード、アイデア、リソース要求、その他の投稿などに関するユーザーへの通知が表示されています。

ワークボックスはPlanisware Enterpriseの使用を促進し、電子メールへの依存を減らします。Planisware Enterprise上で現在および将来のプロジェクト関係者間で情報が共有されるため、関連情報は個人間の電子メール内に閉じ込められることなく、関係者がいつでもアクセスできる状態が確保されます。

Planisware EnterpriseのSNS機能はプログラム、プロジェクト、メンバーレベルでのコミュニケーションを促進します。簡単なメッセージから成果物、アイデア、課題まであらゆる内容を投稿でき、スクリーンショットやレポートが添付可能です。

システムからログアウトしている時も重要な更新情報をタイムリーに受け取れるよう、ワークボックスの通知は電子メールに連携することができます。メール通知の設定は個人の好みに合わせて変更可能です。

ドキュメント管理

Planisware Enterpriseは高度なドキュメント管理機能を備えています。

文書はソリューション内でアップロード、保存、改訂できます。

また、Planisware EnterpriseはSharePointやDocumentumなどのドキュメント管理システムとの統合も可能です。

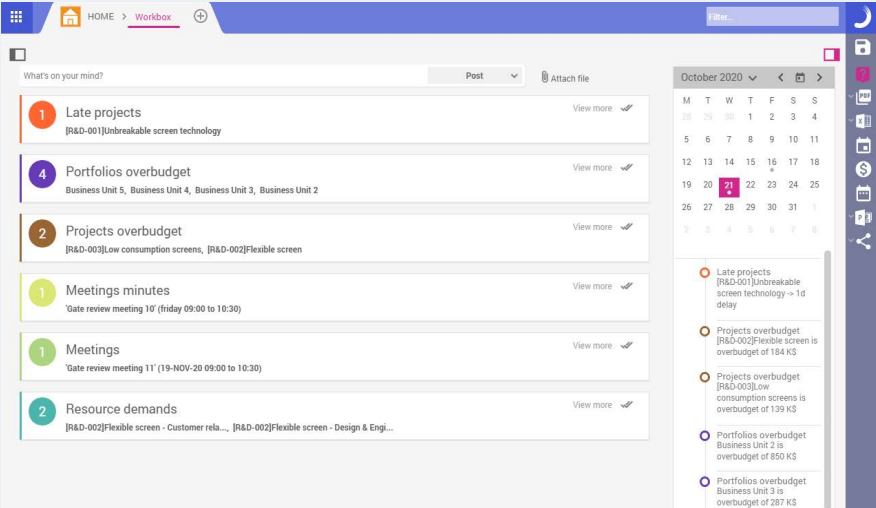


図27：各ユーザーのワークボックスビューには 이슈、리스크、成果物などの 액션아이템이 리스트업됩니다.



図28：Planisware Enterprise内で 프로젝트文書を直接管理됩니다.

04

エンジニアリング向けのソリューション



エンジニアリング向けのソリューション

資本計画

大規模なエンジニアリング契約は複雑かつ長期にわたるため、ある程度の仮定やリスクが付き物です。Planisware Enterpriseは次のような機能により、エンジニアリング組織が強固でレジリエントなポートフォリオを構築することを支援します。

- 計画された作業と進行中の作業に対する包括的なビューの提供
- ポートフォリオを評価・構築するための一貫したフレームワークの確立
- さまざまなシナリオのもとでのビジネス計画のストレステスト
- リスクを最小化しROIを最大化する施策をサポート
- 市場の変化に対応するためのアナリティクスやシミュレーションの提供
- 資本計画のエンドツーエンドのサポートにより、Planisware EnterpriseはROIを最大化し、ポートフォリオに俊敏性をもたらす透明性のある資金投下を担保します。

契約管理

大規模な契約の管理は困難ですが、Planisware Enterpriseなら単一ソリューション内で契約のあらゆる側面を管理できます。

- 入札の準備・管理、顧客・サプライヤー契約の追跡、契約とプロジェクト間を直接関連付け
- 契約関連文書の整理、Planisware Enterprise内にある従業員のコストや定義したワークパッケージの情報を取得
- マイルストーンペイメントやキャッシュフローなどの重要情報を瞬時に把握、など

アジャイル&アーンド・バリュー・マネジメント

- オンタイムかつ予算内のデリバリーを実現するために、大規模で複雑なプログラムはアジャイルとアーンド・バリュー・マネジメントの両手法を活用して、ソフトウェア、サービス、ハードウェアを管理することが必要になります。
- 上記に対応するよう、Planisware Enterpriseは以下の機能を備えています。
- アジャイル、ウォーターフォール、およびハイブリッドアプローチに基づいたスケジューリング
- 精度の高いプロジェクトパフォーマンスの追跡による、より良質な意思決定と予測
- プロジェクトライフサイクルのあらゆる局面において、計画、出来高、実績データを比較
- Planisware Enterpriseのエンジニアリング機能に関する詳細は「プロジェクトコントロール&エンジニアリング」製品[ブローシャー](#)を参照ください。

アーキテクチャ&デリバリーオプション

ウェブアーキテクチャ

Planisware Enterpriseの技術アーキテクチャは3階層のウェブモデルに従い、システムに接続されたアプリケーション、データベース、ウェブクライアントをそれぞれ個別のサーバーで運用しています。また、SMP (symmetric multiprocessing) やIMC (in-memory computing) などの技術を活用し、スケーラビリティとパフォーマンスを提供します。

Planisware Enterpriseは、1日24時間、週7日の利用可能性が求められる、重要性の高い環境でのデプロイメントにおいて豊富な経験を持ち、数万人のユーザーまで対応可能です。OSを問わず稼働し、サーバーサイドとクライアントサイドのいずれにおいても、Windows、Mac、およびLinux環境での実装経験があります。

クライアントサイドでは、Planisware Enterpriseの「ゼロフットプリント」アーキテクチャがHTML5/Ajaxを活用し、高速で信頼のできる視覚体験を提供します。

Planisware Enterpriseは簡単に設定を変更することができ、次の機能を備えています。

- ユーザーの好みに合わせて設定可能な通知、設定変更可能なワークフロー、更新可能なユーザープロフィール
- レポート、ダッシュボード、アナリティクスを作成・改変するための統合されたビジネスインテリジェンススイート
- 組織の変化に対応して最適化・修正可能で、数に限りのないブレイクダウンストラクチャー
- 新規の表、フィールド、リレーションが追加可能なデータモデル

オンプレミス&クラウドデリバリー(SAAS)

Planisware Enterpriseはオンプレミスでのデリバリー（クライアントがライセンスを購入し、自らソリューションをホスティングする形）か、クラウド上のサービスとしてのデリバリー（SaaS：プランಿಸウェアがホスティングプラットフォームを提供し、ソリューションの運用を担う形）のどちらにも対応可能です。プランಿಸウェアのSaaSはプライベートクラウドであり、各顧客企業に対して個別のホスティングを提供します。プランिसウェアはアメリカ、ヨーロッパ、アジアにクラウドホスティングセンターを保有しています。プランಿಸウェアのクラウドオペレーションや手順はSOC1 type 2およびSOC2type 2認定を受けています。

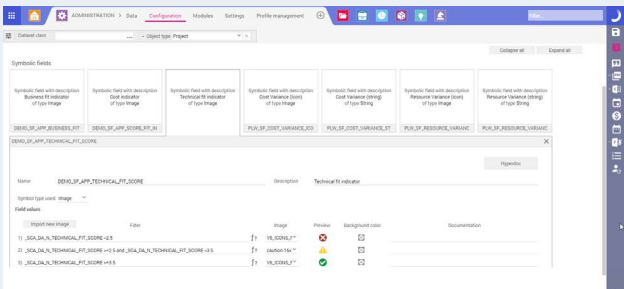


図29：ローコードによりお客様自身でシステムを制御でき、ビジネスアジリティを向上します



図30：Planiswareは予防型サーバーおよびアプリケーションサービスを提供し、お客様のITリソースの負担を減らします



図31：Planiswareは充実した統合オプションを提供します

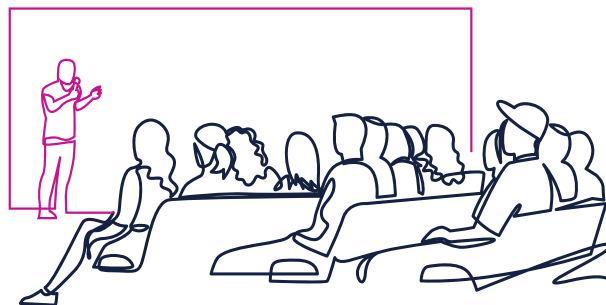
ソリューションの先を見据えたサービス

コンサルティングおよびその他のサービス

プラニスウェアはコンサルティングサービスやカスタマーサクセスマネジメントサービスを提供し、効果的なプロジェクトのフォローアップ、開発手法にまつわるサポート、トレーニングを促進します。プラニスウェアのコンサルティングサービスは当社のビジネスパートナーのネットワークによっても補完されます。

プラニスウェアのコミュニティ

- プラニスウェアはお客様がPPMとソフトウェアのベストプラクティスを同業者や業界の専門家から学ぶことができる場として、複数のプラットフォームを提供しています。
- 米国、ドイツ、フランス、および日本で毎年開催されるユーザー向けイベント：各イベントは、ピアネットワーキングの機会、専門家主導のPlanisware Enterpriseワークショップ、お客様事例に関するプレゼンテーション、ラウンドテーブル会議、基調講演などの内容で構成されています。
- 年間を通じて定期的に開催されるユーザー主導のベストプラクティスワーキンググループ：業種にとらわれない一般的な部会と特定業種に特化した部会の両方があります。
- PPMのベストプラクティスに関する地域レベルの公開ネットワーキングセッション：経験豊富なお客様組織の代表者とゲストスピーカーを交えて進められます。
- お客様専用ポータル：ユーザーコミュニティは、さまざまなユースケースやお客様の声に加え、何百ものドキュメント、ユーザーガイド、ベストプラクティスドキュメントにアクセスできます。
- Planisware Center for Excellence：各種業界をけん引するスペシャリストたちが主導するウェビナーとマスタークラスでは、理論と実践を組み合わせるプロセスを改善する方法を習得できます。



ベストプラクティスの製品への反映

プラニスウェアは創設当初から、お客様と協力して主要なビジネス上の問題を解決してまいりました。さまざまな企業を成功に導いてきた長年の経験は、業種固有のビジネスプロセスを理解するための土台となり、重要な問題に的確に対処するための知見をもたらします。

ベストプラクティスの促進

プラニスウェアは、豊富な経験を通じて学んだ教訓をお客様と共有できるよう、優れた実践とビジネスプロセスをサポートするコア機能を使用して、それらの教訓をソリューションに直接組み込んでいます。また、ステージゲート、プロジェクトマネジメント協会、シックスシグマ、アジャイル、製品開発管理協会などによって定義されたものなど、各組織の標準に準拠しています。

業種別プロセスマップ

プラニスウェアは、ガバナンスマップとチームプロセスマップを含む業種別ベストプラクティスリファレンスモデルに加え、プロジェクトテンプレート、P&Lテンプレート、データモデル構造、スコアカードテンプレート、成果物テンプレート、業種別主要業績評価指標 (KPI) とダッシュボード (該当する場合) も提供しています。

ベストプラクティスを取り入れたコア機能と業界リファレンスモデルの両方を使用すると、システムの展開時にベストプラクティスの採用が可能となります。実装に要する時間を短縮するとともに、価値実現までの時間も短縮できます。

推奨リファレンスモデルをそのまま使用して自社のプロセスをベンチマークするほか、現行のプロセスと販促資料を強化する機会として推奨モデルを評価することができます。

05

PLANISWARE ENTERPRISE機能一覧



Planisware Enterprise 機能一覧

戦略的プランニング

戦略的ロードマッピング

- ロードマップの定義および同期
- 単一のビューでのテクノロジー、IT、製品ロードマップ
- 戦略的ドメインの管理
- シナリオ作成
- リソースキャパシティおよびシミュレーション：ボトルネック分析
- 財務予測およびシミュレーション

予算管理

- 戦略的バケット（予算エンベロープ）の管理
- トップダウンおよびボトムアップの予算プロセス
- 複数のスポンサーにわたる財務予算配分
- 長期的なキャパシティプランニング

プログラムマネジメント

- プログラムロードマップ
- 定義および目標の追跡
- プロジェクト選択
- コスト統合／予算調整
- 入札管理／チェンジマネジメント
- 製品ブレイクダウストラクチャー
- 複数階層でのプランニングおよびリソーススケジューリング
- プログラム全体を対象とするクリティカルパス計算
- 請負業者のリソース管理

プロジェクトポートフォリオ

アイデア、需要、および提案管理

- アイデアの収集、分類と追跡
- 複数ユーザーによるスコアリング
- 提案の選定および優先順位づけ
- 製品認証プロセス
- ROI、NPV、IRR

ポートフォリオマネジメント

- 健全性およびROIのモニタリング
- What-ifシミュレーション
- シナリオの定義と比較
- バージョン管理
- 制約条件下におけるポートフォリオの最適化（効率的フロンティア、感度分析）
- 標準搭載されたパラメトリック推定とアナロジーによる推定
- パフォーマンス測定指標（KPI）：コスト、品質、リスク、健全性など

成果物の管理

- 重要テクノロジー／プロジェクトのフォローアップ
- 共有プラットフォームや展開の管理
- OEM／請負業者のスケジュール統合
- 柔軟なプランニング同期
- 専用レポートの作成

ビジネスインテリジェンス

- 直感的に使いやすくダイナミックなビジネスインテリジェンスモジュール
- スコアカード、パフォーマンス分析、バブルチャート、マトリックス
- エンドユーザー用のワンクリックのダイナミックエリ
- ガントチャートの概要とスコアカードを組み合わせダッシュボード
- ファネルチャート、レーダービュー、ゲージ
- 標準搭載されたPDFジェネレーター：Acrobatのオーサリング：ライセンスは不要
- レポート作成のためのワンクリックのExcelエクスポート機能
- PowerPointへのエクスポート
- 例外ベースのレポート：目標値と実績の差異により発動するアラート

財務

- 労務費、調達費、経費の推定と追跡
- 実績、成果物、調達物、および経費に基づくプロジェクト請求
- 変動請求レートによるクロスチャージと委託ワークパッケージやスポンサーによる複数経路の資金調達
- 損益計算：トレンド、自然減耗、キャッシュフロー、カニバリゼーション、部品表に基づく製品コストの計算、動的計算式
- 複数の通貨
- 連結のための階層構造
- 社内および社外に対する請求モジュール
- 複数の財務ソフトウェアパッケージやERPとのインターフェース
- SAP-Ready認証を受けたインテグレーション
- アーンド・バリュー・マネジメント（EVM）に対する完全なサポート

Planisware Enterprise 機能一覧

プロジェクトマネジメント

手法

- プロジェクトテンプレート
- 重要なマイルストーンやゲートの管理
- アクティビティテンプレートに基づくWBSの標準化
- 複数階層から成るスケジューリングの管理
- プロジェクトの重要期日やマイルストーンを表示するタイムラインビュー
- スコープ、統合、品質、リスクなどに対するイシューマネジメント
- バージョンコントロールとベースライン
- プロジェクト検証とスコープ変更におけるワークフロー
- トレンド指標の管理
- リスクレジスタ、コンティンジェンシープラン/ミティゲーションプランの策定、モンテカルロ法によるリスク評価

スケジュール管理

- グラフィック機能とインタラクティブ機能を備えたネイティブのスケジューリングエンジン：ガント、負荷チャート、PERTネットワーク
- 要件管理、スプリント、かんばん、ストーリー、バーンダウンチャート、生産性レポートを含むアジャイル
- CPMと工数に基づくスケジューリングに対応した包括的なスケジューリングモデル
- MS Project、Oracle Primavera、シングルクリックによるブラウザインターフェースとの双方向統合

ステージゲート方式を用いた製品開発

- アイデア創出から市場投入までのプロセスをサポート
- 財務 (NPV、IRR) および非財務 (スコアカード) 指標

リソースマネジメント

リソースマネジメント

- リソース検索エンジンによる作業リクエストの管理
- 管理業務を含むすべてのタイプのアクティビティのタイムトラッキング
- リソース割り当てとタイムトラッキング承認のために、マルチレベルで構成可能なワークフロー
- 短期/中期/長期のキャパシティおよびボトルネック分析
- 社内リソースと請負業者リソースの管理
- 実績時間とスケジュールおよびリソースの統合

スキル管理

- リソースの複数賃率と変動レート
- 様々な部門からの共有リソースで構成されるマトリックス組織。複数の視点 (部門、スキルなど) からリソースを集約

コラボレーション

- ウォール、メッセージ、ディスカッション機能を備えたエンタプライズソーシャルネットワーキング
- カテゴリ別のメッセージ：イシュー、ステータス、アップデート等
- 設定可能なメッセージ、Eメール、イシューアラート
- ミーティング管理と意思決定の追跡

ドキュメント管理

- 必須ドキュメントとプロセスの関連付け
- Planisware Enterprise内部、外部共に保存可能
- 任意のページおよびあらゆる種類の外部アプリケーションに対応した双方向の動的URLリンク
- スペルチェッカー、全文検索エンジン

アーキテクチャ

アーキテクチャ全般

- 統合されたWebソリューション、オールインワン製品
- 言語：英語、フランス語、ドイツ語、オランダ語、イタリア語、スペイン語、日本語、韓国語
- ロールベースの直感的なGUI (複数の「元に戻す」/「やり直し」を含む)
- 機能管理者向けのシンプルな構成およびマスターデータ管理機能へのアクセス
- パブリケーションフィード (RSS形式)
- RESTful API (XMLおよびJSON)、クライアントまたはサーバーとしてのWebサービス (SOAPプロトコル) のいずれかを使用して、サードパーティ製アプリケーション/サービス、ERP、EAIとインターフェース
- 認定済みSAP WebServicesコネクタ
- G Suite、MS Office、MS SharePoint、MS Project/Primaveraなどと接続
- 全Planisware Enterpriseオブジェクトに対応した完全なAPI
- 異種Planisware Enterpriseインスタンス間でのXML交換
- 新しい統合ワークフローを追加するワークフローエディター
- 適応可能なページとデータモデルを備えたWebオーサリングビルダー
- 変更内容の上位互換性

互換性リスト

- OS：MS Windows、Unix、Linux、Mac OS (クライアントおよびサーバーサイド)
- DB：Oracle、SQL Server、PostgreSQL
- 認証：OpenLDAP、ActiveDirectory、SiteMinderなど
- ウェブサーバー：Apache、IIS Server
- ウェブクライアント：「ゼロフットプリント」アーキテクチャを用いたHTML5/AjaxまたはJava



プラニスウェアについて

プラニスウェアはPlanisware Enterpriseを提供するソフトウェアベンダーです。

1996 年以来、前年比 2 桁の成長を毎年達成しており、パリ、ニース、トゥールーズ、リヨン、サンフランシスコ、デンバー、フィラデルフィア、マンチェスター、ミュンヘン、東京、シンガポール、ドバイ、チュニスにオフィスを構えています。

プラニスウェアはお客様にとって確かなパートナーとなる会社です。すでに何十年もの歴史があり、お客様のビジョンを実現するためにさらに何十年にもわたってお付き合いさせていただきます。





600+

名以上の従業員が
お客様の成功のため
に尽力

800.000+

世界40か国に80万人
を超えるユーザー

\$160M+

1.6億ドルを超える
年間収益と良好な
財務状態

14

世界14拠点で現地の
ニーズに適した専門的な
サービスを提供

8つの言語

及び複数通貨に対応



Your vision brought to life in the cloud.
Software solutions to set projects,
products and programs in motion.
jp.planisware.com

